

小学1年生、5クラス161名という人数の多さに対して、森林インストラクターが10名で、一人あたり16名を受け持つということになり、目の行き届かないことが心配されました。学校側の手配で生徒の父兄さんも何名か協力に来て下さり、16~17名のグループに大人3名ほどがつくことになりました。また1年生という年齢から、火傷の可能性があるグループガンの使用は生徒にはさせず、大人が子供たちに代わって使用することにしました。子供たちにはボンドを使用してもらうことにし、リスクを避けるようにしました。



人数の多さ、年齢の低さから、作業の集中力や、速さなど、混乱を招くのではないかとということも心配されました。しかし、いざふたを開けてみると、どのグループも子供たちはクラフトに夢中になり、心配していたことは吹き飛びました。ご父兄の協力もありがたかったです。

今回は、松ぼっくりでクリスマスツリーを作る、

とテーマを決めました。クリスマスツリーを作り終わった生徒は、好きなものを作ったり、あるいは始めからオリジナリティあふれる作品を作っている生徒もいました。

自分たちで拾ったどんぐりを持参しており、それを使い、また当会で用意したたくさんの自然の素材に、目をキラキラさせながら作品作りを楽しんでいました。やはり、自然の力は素晴らしいです。



ケガ人もなく、時間内に皆、作品を作り終えることが出来ました。振り返りの時間には「今日はどんなものを使って作りましたか？」と尋ねると「松ぼっくり!」「どんぐり!」「竹!」「木の枝!」と元気よく答えが返ってきました。

「みんな自然のものだね。お金では買えないものだね。でも自然はぜ~んぶタダでプレゼントしてくれているんだよ。だから、皆も自然を大切にね」

「は——い!!」と大きな返事。森林インストラクターとして嬉しい瞬間でした。

元気で好奇心旺盛な子供たち。自然を愛する人に育ってほしいものです。

ありがとうございました。

(報告: 出口容子)